

第22回 熊本オープン 小・中学生バドミントン大会 / N水俣

大会参加心得

- 1 団体戦の選手変更および監督・コーチまたはマネージャーの変更については、団体戦当日の受付時（8時40分～55分）に書面を受付に提出すること。事前に変更や棄権が分かっている場合は、FAXにて連絡すること。
- 2 団体戦でベンチ入りできるのは、エントリーされた選手、監督、コーチまたはマネージャーとする。個人戦でベンチ入りできるのは、試合をしている選手と監督、コーチまたはマネージャーとする。
- 3 監督・マネージャーまたはコーチについても、その品位を守るために服装を整えるとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力すること。
- 4 試合時のベンチは本部席に向かって右側を若番とする。（チーム・選手番号で確認する）
- 5 試合進行はタイムテーブルを基準にするが、予定が変わることもあるので放送等には十分注意すること。コート番号より試合番号を優先して進行する。団体戦予選リーグのみコート番号を優先する
- 6 応援は、相手に対して不快感を与えないようにマナーを守ること。鳴り物による応援は一切禁止する。（ベンチ入り以外の応援・観戦については二階席より行うこと）
- 7 飲食は競技アリーナ以外を使用すること。ごみは各チームで持ち帰ること。
- 8 屋外やロビーなど、アリーナ以外でのシャトル打ちは禁止する。
- 9 シューズの履き替えをきちんと行うこと。競技アリーナは体育館シューズでそれ以外は外用シューズを着用すること。また、シューズの保管はそれぞれ個人で袋に入れて管理すること。競技フロア出入り口には置かないこと。
- 10 貴重品やシューズを含めた個人の用具の管理は各チーム又は個人で行うこと。盗難や忘れ物がないよう注意すること。（盗難が多発している）
- 11 審判について
団体戦の予選リーグは試合をしていないチームが、決勝トーナメントは敗者審判（主審・ラインジャッジ）で行う。得点板は試合をしているチームから1名ずつ出すこと。
個人戦は敗者審判（主審・ラインジャッジ合計3人）を原則とする。人数が足りないときは本部に申し出ること。
- 12 表彰について 4位までに賞状、3位まで記念品を贈る。
- 13 日程について（各試合においてはタイムテーブル参照のこと）
開館時刻（予定） 1日目 8時30分
2日目・3日目 8時00分
開会式なし 大会本部は8時30分よりメインアリーナステージに設置
代表者連絡会 12月27日（金）9時～（メインアリーナ第1コート）
※個人戦のみ参加のチームは参加しなくてもよい。
練習時間 1日目 8時40分～9時40分（メインアリーナ第1コート以外）
2日目 8時10分～8時50分（メイン・サブアリーナ）
3日目 8時10分～8時50分（メインアリーナ）
競技開始 1日目 10時00分～
2日目 9時00分～
3日目 9時00分～
閉会式なし 表彰は決勝、3位決定戦終了後コートで行う。
競技日程 1日目（27日・金）団体戦予選リーグ全と決勝トーナメント準々決勝まで
2日目（28日・土）～9時団体戦オーダー交換
団体戦準決勝～決勝・三決と個人戦ベスト8決めまで
3日目（29日・日）個人戦準々決勝～決勝・三決まで・表彰

14 競技方法・大会運営規定（2018 - 2019 日本バドミントン協会競技規則に準じる）

(1) 団体戦は、予選をリーグ戦、決勝をトーナメント方式により優勝を決定する。

個人戦は、トーナメント方式により優勝を決定する。（詳細は組合せを参照）

(2) 団体戦は複2・単1の対抗戦とし、複単複の順で行う。試合の進行状況により、最初から3コート並行で実施することがある。また、同一選手が単と複及び複と複を兼ねて出場することはできない。

個人戦も単と複を兼ねて出場することはできない。

(3) 団体戦の予選リーグは3試合とも行う。決勝トーナメント1回戦より、2試合先取した時点で試合は打ち切りとし、第2ダブルスは行わない。

リーグ戦の1チームが決勝トーナメントに出場できる。順位の設定は①チームの勝ち数、②各複単の勝ち数、③得失ゲーム差、④得失点差、⑤抽選（代表者1名による）の順で決定する。

(4) 得点は、団体戦・個人戦ともに15点3ゲーム（21点まで）とする。

また、団体戦の準決勝・決勝・三決、個人戦の準々決勝・準決勝・決勝・三決は、正式ゲームで行う。

(5) 15点ゲームの場合、すべてのゲーム中に60秒を超えないインターバルを認める。第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。

(6) 団体戦予選リーグのオーダー交換は、予選リーグ試合時にコートで行う。一つの試合が終わり次第、敗者は結果を本部に持ってくること。

決勝トーナメントのオーダー交換は、試合終了後相手チームが決定次第、直ちに本部席横のオーダー交換所で行うものとする。オーダー用紙は大会実行委員会より受付時に配布されたものを使用すること。提出後のオーダーの変更は認めない。

(7) **試合前の公式練習は行わない。**

(8) 本大会使用球（シャトル）は、水鳥球を使用する。

(9) シャトルがインプレーでないときに限り、プレイヤーはマッチ（試合）中アドバイスを受けることができる。プレイヤーはインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。

(10) 競技中の汗拭きや水分補給については、マッチ（試合）を中断しないように心がける。また、水分補給はスクイズボトルを使用する。

(11) 競技中の服装は、色付きの着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上衣の裾は下衣の中に入れて競技する。防汗や整髪のために、はちまきの使用は認めるが、体裁良く結ぶこと。

(12) 上衣の背中中央部には、**チーム名・姓が入ったゼッケン**を着用すること。

（選抜チームの選手のチーム名・姓入りゼッケンが準備できないなど、事情がある場合は本部に届ける。）

(13) 個人戦のみ連続試合は10分間のインターバルをとる。

15 その他（お願い）

(1) 開・閉会式は実施しない。表彰は、そのコートで行う。

(2) 昼食（弁当）の注文は事前に申込用紙にておこなうこと。

(3) 組み合わせの誤植訂正については**12月20日（金）**までに連絡をすること。

（別紙様式FAXにて）